

一般質問

(4〜7ページ中段まで)

市議会定例会では、提出された議案を審議するほかに、一般質問として、各議員が市政全般に対して質問することができます。今回は23人35件の一般質問がありました。

(他はその他の質問)

商店街の街路灯 LED化促進に向けた市の支援策は

導入及び維持経費の負担軽減が課題であり支援策の協議を進めたい

比留間 利蔵議員(市政) 商店街の街路灯をLED化することは、環境にも優しく、維持経費も軽減されることから促進をすべきと考えるが、各

商店街に掛かる負担が導入への足かせとならないようにする必要があるので、そこで、市として今後どのような支援策を考えているか聞きたい。
市民生活部長 商店街が管理している街路灯については、東日本大震災以降の電気料金の値上げ等により、維持管理が困難な状況になっている。街路灯は、防犯灯の役割も担っており、地域の安全、安心に寄与しつつ、商店街の活性化にもつながっていることから負担の軽減が今後の課題であると認識している。



▲晴見町商店街にて

本市としても環境への配慮、地域の安全、安心、商店街の活性化維持の観点から、LED導入に係る経費や導入以降の維持経費の支援策について、今後協議を進めていきたいと考えている。
他 防災対策について

独自デザイン導入の動機は

4市が市制周年事業の一環として導入したと聞いています

加藤 雅大議員(市政) 市町村が発行する125cc以下のバイク等のナンバープレートは、形状や図柄に明確な規定がないため独自デザインを導入する自治体が増えている。都内26市でこれを導入している市及び導入する場合の問題点について聞きたい。
税務管財部長 八王子市、三

鷹市など6市が導入しており、市のイメージキャラクターやアニメキャラクター等をデザインに入れていく。導入への問題点では、市をPRするデザインの考案や原簿作成の費用が通常より割高になることなどが考えられる。議員 事業費も少なく話題性もあるデザインナンバープレ

文化センターの運営等 質を落とさず継続していくための考えは

民間活力の導入も検討していきたい

臼井 克寿議員(市政) 市財政がひっ迫する中、文化センター施設の維持管理や各コミュニティ協議会の運営には多くの課題があると思うが、市

ではどのように考えているか。
市民生活部長 施設の運用経費を最小限とするため、節電等に努めているが、今後は老朽化による修繕箇所が増えていくものと予測する。協議会の運営に対しては、更なる主体的な活動を進め、地域コミュニティの醸成に努めていただくことを期待している。
議員 行財政改革が進む中、文化センター事業の見直しも必要と思うが、施設の維持管理、イベント運営など、質を落とさず、健全に事業を継続していくための考えがあるか

他市の事例を見極めた上で検討を行っていき

村崎 啓二議員(市フォ) 認知症や単身の高齢者等が増加する中、成年後見制度の役割が一層重要になっていく。近年、同制度を利用する際の助成対象を、市長以外に本人、親族等の申し立てまで拡大する事例が増えているが、市ではどう考えているか。

福祉保健部長 対象の拡大は、同制度の利用促進に効果があると考えられるが、将来、予算増が予想されるなど課題もあるため、他市の事例を見極めた上で検討を行っていく。議員 市社会福祉協議会による不動産担保型生活資金貸付事業と成年後見制度の連携について、市の考えを聞きたい。

1トの導入は、2年後の市制60周年を大きく祝う起爆剤になると思うが、導入市での動機付けはどのようなものか。
税務管財部長 導入6市中4市が市制周年事業の一環として導入、2市が観光振興を目的とした導入と聞いている。他 郷土の森周辺地域のさらなる活性化及び持続性を願って

福祉保健部長 同貸付を活用した生活資金の確保は、本人の経済的生活の安定に資すると考えられるが、不動産価格の下落に伴い貸付限度額も下がっている等の理由から利用が進まない状況である。今後は、成年後見人への支援活動でも、同貸付の活用など情報提供を図っていく。

府中駅周辺での呼び込み行為を排除すべきと思うがどうか

青少年健全育成の観点からも関係団体と連携した監視、指導が重要と考える

石川 明男議員(市政) 府中駅周辺は府中の表玄関であり、これまでも環境面での整備などを着実に進めてきた。しか

し、同駅周辺では通行人に対する幾種かの店舗の呼び込み行為があり、まちのイメージを損なう要因の一つとなっている。青少年健全育成の観点からもこのような行為は排除すべきと思うがどうか。
環境安全部長 呼び込みや客引き行為については、青少年健全育成に対する悪影響も懸念されるため、今後府中警察署や関係団体と連携し、駅周辺の秩序が保たれるよう監視、指導をしていくことが重要と考えている。議員 周辺では露天販売も多く見られる



四谷さくら公園の拡張整備で防災機能を持たせる考えは

整備計画を進めていく中で検討していきたい

市川 一徳議員(市政) 平成13年に開設した四谷さくら公園は、遊具もなく雑草が目立

ち閑散としている状況にある。こうした中、市では同公園西側に隣接する用地を買収し、公園の拡張整備を行うことを決めた。そこで、整備の日程及び完了時期、また、防災公園としての機能を持たせる考えがあるか聞

きたい。
都市整備部長 24年度に基本計画を策定し、所定の手続きを経た後、工事を実施することになるため、竣工までには数年かかる見込みである。防災公園としての機能を持たせる考えについては、現在市南西部に一次避難場所として利用できる大規模なオープンスペースである公園が不足しているが、同公園の拡張整備により防災活動拠点が確保できることとなる。今後、整備計画を進めていく中で、一次避難場所として必要な防災機能や施設の設置等について検討をしていきたいと考えている。



▲四谷さくら公園

※()内は、会派名を略して掲載しました。市政…府中市議会市政会 市フォ…市民フォーラム 公明…府中市議会公明党 共産…日本共産党府中市議団 ネット…生活者ネットワーク 志高…志高会 友愛…友愛会